

(編入学)

令和2年度 入学試験問題

小論文

(農学生命科学部 生物学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙2枚と下書き用紙2枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題 1

近年の地球温暖化によって地球上の平均気温は 100 年あたり 0.7~0.8℃上昇しており (IPCC*2007)、その結果として野生生物の分布域や生態が変化しつつある。北半球温帯域の場合、このような気候の温暖化によって悪影響を受けやすい野生動植物の種はどのような生態的特徴を持つと考えられるか、その理由も含めて 400 字以内で書きなさい。なお、以下のすべての用語を用いなさい。

移動能力、断片化した生息地、高山帯

* IPCC : 気候変動に関する政府間パネル

問題 2

人為的な原因によって個体数が大きく減少した生物の集団は絶滅しやすいと考えられている。個体数が少ない集団で絶滅の危険性が増すと考えられる理由を 400 字以内で書きなさい。なお、以下のすべての用語を用いなさい。

性比、生存率、変動、近親交配、遺伝的浮動、絶滅の渦